2011 June

No.51

平成23年度 加藤会長所信表明

3月11日に発生した東日本大震災は、私達の想像をはる かに超えた未曾有の大災害となり、今もなお、深い爪痕を日 本中に残しています。

そんな中でも被災地は「前を向き」「未来に向かって」少し ずつ、着実な「一歩」を踏み出し始めました。被害に遭われ た皆様にお見舞い申し上げますと共に、会員各位におかれ ましては、できる限りの支援を先ずお願いいたします。

さて松山YEGは、平成2年度に設立され21年の歴史を重 ねて参りました。「会員企業の発展!それに伴う地域経済の 活性化」を通年のVision~ヴィジョン~とし松山まつりの活 性化に向けた「い組連」「市民参加連」の運営、「愛媛マラソン」 のサポートや地域との共生活動など、数多くの事業を推進 してまいりました。さらに平成21年度には日本YEG 「第29 回全国大会えひめ松山大会」の開催地YEGとして、愛媛県連 と一丸となり「笑心~えがお~」をテーマに、全国から約 4000名のYEGの皆さんをお迎えいたしました。

「さぁ!次のステップへ」

今年度松山YEGは「一歩! Step by Step! 結集した力で 踏み出そう」のテーマのもと心を一つにし「誇り」をもって 行動していきます。

「度肝を抜く!」私はよくこの言葉を口にします。この言 葉は相手の「度肝」を抜こうとする事だけではなく、自分自 身の「当たり前」の「度肝」を抜くことだと思っています。

「これでいいかな。」ではなく「これがいい!」と思えるよう な選択。「どうやったら出来るのか?」ではなく「こんな事を やったらびっくりするくらい喜んでもらえるよな」「これが 出来たらすごいよなあ」といった積極的な選択。こんな事を 考えるだけでワクワクしてきます。つまり夢をもって一歩 踏み出す事なのです。

「なるほど!!」」を何回言えるかが自分自身の成長だと 思っています。手応えを掴んだ時、人は笑心になります。「行 動したら次の現実」夢を語り、イメージし、ワクワクしなが ら行動する。上手くいく事。いかない事。「すべてよし!」知 恵を出し、力を出し、汗を出す。常に前を向いて進んで行く ことは意味のある事だと信じています。

「私はYEGとして夢に挑む!私達はYEGとして地域を愛 する!すべてのYEGは連帯の証となる!」この言葉が大好 きです。

青年経済人として、我々松山YEGが志を一つに歩んでい く事、歩み続ける事。平成23年度末のすべては笑心のため に。そして愛する地域が「笑心」で溢れる為に、私たちは YEGとして「一歩」を踏み出しましょう。









副会長 浮田 宏行







■発行月/平成23年6月 ■編集/広報委員会 ■発行/松山商工会議所青年部 ■所在地/松山市大手町2丁目5-7

Magazine of young person of Matsuyama the chamber of commerce and industry part announcing to public 松山商工会議所青年部広報誌

平成23年度

員長紹介

高松和恵

「君の腕の中 この命 消えるまで」

①〇型 ②みんなの笑顔を見る事 ③卵焼き・すき焼き 来年の3月には会員を200人にします!

岡部純二 委員長

明るく楽しく真剣に全員参加で進めていきたい 180センチ、80キロ(自称)。毎日、HPを 交流を通じて更に仲良くなり、気軽に相談し

地 域 活 性 化



愛員長 麻田晃司 <u>愛員長</u> 大西文和 <u></u>

①A型 ②仕事??? ③とりあえず何でも食べます。 ④妻+子 ①A型 ②人間観察 ③うどん(特に麺は讃岐で肉うどん ④子 松山を元気にして地域に笑顔を

会員交流



やればできる」「小さな事からコツコツと」

あえるYEGにしたい

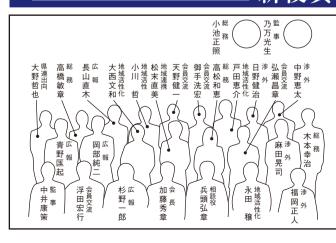
地域連携(特別委員会)



委員長

④近い将来増える予定 ⑤飲む(具体的に・二番町・三番町) 供2人(小学5年男+小学2年女) ⑥飲む(具体的に・ほどほどに) 供2人(息子&娘) ⑥飲む(具体的に・日本酒以外なら何でも) いままでとは違った松山まつりで、元気を発信

質問項目 ①血液型 ②趣味 ③好きな食べ物 ④家族構成 ⑤お酒は?





れた。全国から282人のメンバー会」が4月15日、松山市内で開か災への対応と支援のための決起大



笑心(えが お)を合わせ、力に変えよう

23 年 3

月 11

Ħ

困って

ま

きたい」とカ

しょうが、

前向きに元気でやってい

復興には長い時間がかかるで いる人もまだまだ大勢い

多くの方が亡くなり、不明者もいただき感謝しています。本当に

「全国の皆さんから沢山の物資を

EGの阿部賀寿男さんからは、

台大会で大会会長を務めた仙台さらに前年の全国大会宮城仙

が現状を報告した。

が参加。東北ブロックのメンバーら

でいを合わせ、力に変えよう、

及び、特に宮城県、福島県、関東にかけての広い範囲に被大規模地震が発生した。東北を震源地とするマグニチュード る被害も収束の目処がの行方が分からず、原なる尊い命が奪われた。^ ている。 対 し_、 まだ。 そして復興に向けて、 県では津波等により1 YEGはいかに対応していくのか。 YEGのメンバ 宮城県連で 青年経済人として した未曾有 日処が立たないまり、原発事故によれた。今尚、大勢 ーも岩手県連で 、福島県、岩手い範囲に被害が 人が亡くなっ 今尚、 どのように 万人を越え た。東北からチュード 9.0の、宮城県沖 の て我々

2011/04/12 2:06

関わっていくの

その真価が問わ

れている。

日本YEGによる「東日本大震



今後の方気 たい」と決意を述べた。大会では、0%の力で経済活動を行っていき ければ復興にはつながらない。この会長が「私達が国や地域を支えな や日商親会との協調、 この後、被災地の復旧・経済支援 YEGの事業も全てこなし、 決起大会をはじめ、予定して 続いて日本YEGの兵頭弘章 協調など震災に 青年経済 す いる 5



3月11日に起きた大地震はニュー3月11日に起きた大地震はニューーで起きたことなのでここまで甚大なでした。しかし、時間がたつにつれでした。しかし、時間がたつにつれて被害が拡大し、地震、津波さらに日本だけでなく日本全土に入る。最初は遠い場所は原発の損壊による放射能被害としている。 被災地への援助活動について

らで、すべてのものを津波が飲み込連絡を受けた時はまさに戦場さなが現地に向かわせました。石巻に入り、現地に向かわせました。石巻に入り、保しトラックを仕立てて3月16日に保しトラックを仕立てて3月16日に



田部井優介(松山YEG)

皮災地を

田部井日本YEG出向理事



もっと足を使い避難所の声を聞き情報の整理と発信をしていくべきであるのではないかと歯がゆい気持ちになりました。 4に訪れました、全国大会で訪れた付合の街中は意外と普段の生活を取り戻しており、どこに地震があったのだろうと思うほど回復していました。 を記した。 集積場では仕分け作業に追われパンクしていました。 通信が断たれて いたため避難所へ連絡が取れずといいたため避難所へ連絡が取れずとい が、行政 の方々も尽力されていましたが、 では仕分け作業に追われパ 届けた米と水は被災地に方々に配り、その時に受けた地元の方々の感り、その時に受けた地元の方々の感がらは、支援物資を送りました。行政機関で支援物資を送りました。行政機関がらは、支援物資を送りました。行政機関があるたび集積場には物があふれていても、肝心の被災者には全く届いても、肝心の被災者には全く届いても、肝心の被災地に方々に配れました。

り、給油する車の列もありませんでしり、給油する車の列もありませんでしり、給油する車の列もありませんでしり、前回よりは道路に散乱した瓦礫、り、前回よりは道路に散乱した瓦礫、すは撤去され通行できるようになっていましたが、一度津波に飲み込まれた地区はまだまだ被災したまま時間がとまったように見えました。 全国大会の会場であった夢メッセーがとまったように見えました。 全国大会の会場であった夢メッセールでもができませんでしたが、万礫が高さましたが、一度津波に飲み込まれていまったように見えました。 す。この全国27000人のすばらしす。この全国27000人のすばらしますが、石巻南三陸をはじめ町自体が津まだまだ最初とは違った支援が必要まだまだ最初とは違った支援が必要まだまだ最初とは違った支援が必要は飲み込まれ各被災地は途方に暮めに飲み込まれ格能災地は途方に暮れるほど徹底的に破壊されています。 り、前ヒーい仲間たちが 仲間たちがいます。きっと立ち、この全国27000人のすば



支援物資の購入について(ご報告)

この度の義援金ご協力ありがとうございました。 集まった義援金で、「カセットコンロ 50台・ボンベ 300本」 を 購入させていただき、兵頭日本 YEG会 長が宮城県へ直接持参しました。





なお、義援金は現在も受付中です。どうか、よろしくお願い申し上げます。

【義援金振込先】 銀行名:伊予銀行 松山駅前支店 口座番号:1975147 口座名義:東北地方太平洋沖地震義援金 会長 兵頭 弘章 トウホクチホウタイへイヨウオキジシン カイチョウ ヒョウドウヒロアキ

県連からも、3月19日(土)の午前中にトイレットペーパー400箱(38,400ロール)が会津若松に向けて出荷されました。